

【鳴門市行政評価】

平成27年度事務事業評価シート(26年度実績)

◎基本情報

事務事業名	公共交通対策事業		担当部署	企画総務部 戦略企画課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	道路運送法・鳴門市地域バス運行条例	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住みよい まちづくり	事業期間	開始	平成 <input type="text" value="26"/> 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なると			終期
(小項目)		交通			
施策	5	新しい公共交通網の確立			
基本事業	2	公共交通機関の確保と整備			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 地域バス・(徳バス)協定路線の利用者等														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	市民生活に必要な移動手段は基本的に確保するとの方針のもと、市営バス撤退に併せ路線の再編を行い、将来的に持続可能な新しい公共交通体系の確立を図る。														
事業計画	26年度に何を計画していたか	①地域バス並びに協定路線について、継続的に利用状況等の把握に努めつつ、必要に応じて運行内容の見直し検討等を行う。 ②市民参画・市民協働による地域が主体となった移動手段の確保への取り組みを支援するため、地域住民と協議しつつ事業化の可否等についても検討していく。検討の結果より試験運行や本格運行へ向けた支援を行う。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>再編済み路線数(全7路線)</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>本</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位	再編済み路線数(全7路線)	7	7	7	7	7	本
指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位										
再編済み路線数(全7路線)	7	7	7	7	7	本										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	26年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	平成26年4月1日から徳島バス大麻線(協定路線)の板野駅南発鳴門駅前行き始発便を路線延長し、直接鳴門病院まで乗り入れることとした。 ドライブレコーダー導入により、安全運行につとめた。 大麻線について、10月1日より、時刻変更を行い、利便性の向上、利用促進に努めた。					
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		25年度実績	26年度実績	27年度目標	28年度目標	29年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	地域バス・協定路線乗車人数	258,611	264,309	264,309	264,309	人
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	再編済み路線数(全7路線)		7	7	-	-	本
	目標達成率(実績/目標)			100.0	-	-	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		計画どおり			

(千円)

財源内訳	平成26年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		0	0	0	1,188	132,871	134,059
		全体予算額		0	0	0	1,188	137,554	138,742
		決算額		0	0	0	1,443	136,473	137,916
		繰越額		0	0	0	0	0	0
	人件費		正規職員(6,878千円/人)	臨時職員(2,023千円/人)	総人件費		総事業費		
		1.4	0.0	9,629		147,545			

年度	25年度決算	26年度決算	27年度	28年度	29年度	
事業費推移	事業費	133,518	137,916	135,563	135,563	135,563
	うち一般財源	132,180	136,473	134,225	134,225	134,225
	人件費	15,046	9,629	9,629	9,629	9,629
	総事業費	148,564	147,545	145,192	145,192	145,192

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった	交通弱者等が生活するうえで、必要な交通手段は市が行うべき事業であるため、当該事業は必要不可欠であり、利便性向上において、今後も事業見直し等を行う。 市民の生活の足を確保するため、これまで市営バスが運行してきたバス路線の維持を図るものであり、再編は完了したが一層の路線の効率化をはかる。
	効率性	B:概ね効率的だった	
②成果に対する評価	指標名	再編済み路線数(全7路線)	
	目標	7	本
	実績	7	本
	評価	A:目標を達成できた	
③総合的な評価		B	
		利用者は増加したが、新たな公共交通の構築には至っていない為、評価をBとしたい。	

◎今後の方向性(ACTION)

課題	利用実態の把握に努め、路線の効率化を検討する。 市民との協働による新たな公共交通を検討を行いながら、地域自らが作り育てるという意識の醸成に努める。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H27年度	乗客調査を行い、利用客の実態把握に努め、路線見直しを行う。 H28年度からの地域バス運行事業者の選定をプロポーザル方式で行う。 新たな公共交通を検討する。			
	H28年度	見直しを行った路線も含め、利用者についての利用状況等の調査を行い、実態把握に努める。 新たな公共交通を検討する。			